

RCCが女子高生殺害事件の報道で 第56回JNN大賞を受賞

中国放送(略称RCC・広島市)は、「廿日市女子高生殺害事件で山口県の男に逮捕状」のスクープ報道により、第56回となる2018年のJNN大賞を受賞することが決まりました。表彰式は3月15日に東京で行われます。

JNN大賞は、TBSテレビをキー局とし全国の民間放送局28社で構成するJNN(ジャパンニュースネットワーク)において、1年間に放送されたニュースならびに報道番組のなかで最も優れた取材活動に対して授与されるものです。28社の投票によって選出されます。

中国放送は、2004年10月に広島県廿日市市で当時高校2年の北口聡美さんが自宅に侵入してきた男に刺殺された事件で、広島県警が殺人容疑で山口県の男の逮捕状を取ったことを2018年4月13日に特ダネとしてJNNニュースで伝え、同日、男が自宅から任意同行されるもようも単独スクープしました。

中国放送のJNN大賞受賞は初めてです。2008年に光市母子殺害事件差し戻し控訴審の判決を間近に控えた被告少年に広島拘置所内でインタビューし、大賞に準じる作品や卓越した調査報道に授与されるJNN特別賞を受賞しています。

JNN大賞受賞について中国放送報道部の松原芳充記者(警察担当)のコメント

「事件の発生から14年間、何人もの記者が怒りや悲しみを胸に解決を願って取材にあたってきました。その一つの結実として、今回の受賞対象となった報道があります。今後も遺族の気持ちに寄り添い、地域の信頼を得られるよう、しっかりと取材していきます。」